



食べて健康、喋って健口！  
～つばさのリハビリテーション～



2019年4月発行  
第30号

# つばさ新聞

## 言語聴覚士 赤澤 薫

こんにちは、言語聴覚士（げんごちょうかくし）の赤澤です。  
皆さまからの熱いご要望にお応えして、『つばさのリハビリテーション』をご紹介します。  
今回は、カラオケ大好きなYさんとの練習風景をご紹介します！  
とても楽しい方で、数々のエピソードをお持ちです。  
練習中に思い出話に花が咲くこともしばしば・・・（何と、船舶免許とクルーザーを持っていたとか！）  
ただ、この方にはパーキンソン病による症状の一つで、「声が小さくなった」「話しことが滑らかに  
出にくい」、「食事でもせやすい」といった困りごとがあります。  
そのため、リハビリでは発声の練習や「ペーシングボード」という道具で言葉をスムーズに話す  
ための練習をしています。また、舌や飲み込みの筋力を高める練習をしています。



### ペーシングボード・・・

一音ずつ、ひとつの色を順に指でさわって話します。  
ゆっくり、はっきり発音するために使用します。



### おでこ体操・・・

飲み込みの筋力をつけるための  
トレーニングです。  
お互いに一所懸命です！



大好きなカラオケを長く楽しんで頂くために、奥様手作りの愛情一杯な食事を美味しく食べて  
頂くために、トレーニングのお手伝いをしていきたいと思っています。  
「声が出にくい」、「スムーズに話せるようになりたい」という『喋ること』のお悩みや  
「食べ物やお茶が飲み込みにくい、むせが増えた」、「口から食べたい」などの『食べること』の  
お悩みがありましたら、言語聴覚士までお気軽に御相談ください！



10年前の事務所



つばさクリニック岡山



つばさクリニック

## 理事長のコメント

すっかり春めいてまいりました。皆さまいかがお過ごしでしょうか。  
つばさクリニックは、この4月をもちまして、10周年を迎えることが出来ました。  
こうして10周年が無事に迎えられましたのは、ひとえに患者様やご家族、そして  
地域の医療・介護関係の皆様のご支援ご厚情の賜物と深く感謝致しております。  
今後も地域や患者様に必要とされる在宅医療を目指しながら、時代の流れを見据えた  
新たなチャレンジにも取り組みたいと考えております。  
まだまだ未熟で、至らないところも御座いますが、皆様のお役に立てるように  
一生懸命精進する所存で御座います。  
今後ともよろしくお願い致します。

（医療法人つばさ 理事長 中村幸伸）

## お知らせ

当院の訪問診療を受けておられない方でも  
つばさクリニックからの  
訪問栄養指導と訪問リハビリ(言語聴覚士)の受付けを開始しました。  
お気軽にご相談ください。

## つばさクリニック

定期訪問 午前9時～午後5時 緊急往診 24時間対応

診療科目 訪問診療・内科  
循環器科・呼吸器科・整形外科  
〒710-0047

岡山県倉敷市大島534-1  
TEL 086-424-0283  
HP: www.tsubasa-clinic.net

## つばさクリニック岡山

診療科目 訪問診療・内科・小児科

〒700-0026  
岡山県岡山市北区奉還町1-7-7  
TEL 086-254-0283  
www.tsubasa-okayama.net

## 職種紹介 【その2 看護師】



看護部副主任 畠中 智絵

今回は当院の看護師業務を紹介します。

まずは院外で行う外勤業務です。

### □ 診療補助

医師と一緒に訪問診療を行う業務です。

看護師の仕事はコレが一番大事！と言えるかもしれません…。

### □ 事前説明

訪問診療が初めての患者さんやご家族にお会いし、診療の説明や療養に関する希望を確認します。

### □ グリーフケア

遺族訪問として、可能な限り亡くなられて1カ月前後のあたりにご自宅に訪問させていただき、ご遺族の思いやその後の様子をお聞きしています。私たちもあらためて気づかされる事があります。



次に院内で行う、内勤業務を紹介します。

### □ 医療物品・薬剤等の管理

診療先での様々な状況に対応するために、医療物品や薬剤などのチェックが欠かせません。

### □ 初回診療やカンファレンスに向けての準備・調整

当院では、初めての患者さんへの訪問までに、事前に情報収集して、自宅で過ごすために何が問題か、どういった準備が必要かなどの情報を看護師と相談員で整理します。その情報を元に、主治医や相談・共有しながら診療への準備を進めます。

これらの外勤・内勤業務はほんの一部に過ぎません。(書ききれません…)

看護師として、何よりも患者さんへの訪問【外勤】に行きたいのですが、事務作業の多い【内勤】も患者さんの思いを支える為には大切な業務なので、日々前向きに取り組んでいます。

そんな思いの看護師らが倉敷11名(平均年齢44歳)

岡山8名(平均年齢42歳)在籍しております。

ただ、熟年化！？高齢化！？が進み、クリニック内では「あれがなあ～、それぞれ、これどうなってる？」

「あ～あれなあ・・・」

などと、同世代ならではの会話と手法で意思疎通を図りながら働いております。

もちろん若い方も働ける環境ですよ～！！

これからも当院看護師らをよろしくお願ひします。



Dr. 井戸の

## 医療四方山話 ～認知症～

皆さんは訪問診療で私たちが関わっている方々を病気の種類別に分類した場合どんな病気の方が多いと思いますか？

イメージでは、癌や脳卒中の方が多いと思われるかもしれませんが実は認知症の方が最も多いのです。

それゆえに、認知症の方にどう対応したらよいかは私たちの診療においても大変大事なことなのですが実は大変難しく、対応に苦慮する人が多いのが正直なところ。

認知症の方への対応はケース・バイ・ケースで、お一人ずつオーダーメイドの対応が必要なことが多いと感じています。

特に認知症の『周辺症状』と呼ばれる介護するご家族にとって厄介な言動への対応は、こうすればうまくいくという確立されたものはないように思います。

「徘徊する」、「興奮する」、「妄想がある」「昼夜逆転している」「清潔が保てない」などなどの課題に対して、個別に試行錯誤してやり繰りしているのが現実です。認知症の方とその家族の方の生き様を支援していくことは本当に難しいものだとつくづく感じています。

ところで、『認知症ねっと』というウェブサイトがあるのをご存知でしょうか？その中に、『ユッキー先生の認知症コラム』というものがあります。

和光病院院長で日本認知症ケア学会の元理事長である今井幸充先生という方がご自身の体験されたケースをもとに認知症に関する様々なテーマについて、実体験を引用しながら解説してくださっているものです。

私も自分の患者さんへの対応で困ったときなどに参考にさせてもらうことがあります。認知症の方を介護ケアされている中で、その対応に困られている方は是非一度このコラムを覗いてみてください。

何らかのヒントを得られるかもしれません。

先にも述べましたが、当院の診療の中で最も関わることの多い病気は認知症です。在宅生活を支える一助として、いつでも私たちにご相談ください。

### 勉強会のお知らせ

医療・介護・福祉に関わる皆様を対象に【毎月】【参加費無料】の在宅医療の勉強会を開催しています。詳細は【つばさクリニック】【つばさクリニック岡山】各ホームページでご確認ください！

Kurashiki  
Home-care  
Meeting

#### 倉敷ホームケアミーティング

開催日 毎月第3金曜日 18:30～19:30  
会場 倉敷商工会議所(倉敷市白楽町249-5)

つばさ カフェ

#### カフェつばさ

開催日 毎月不定日 19:00～20:00 (HPに随時掲載)  
会場 オルガビル2Fカフェグレン(岡山市北区奉還町1-7-7)